



## 8月27日から妊産婦専用のコロナ病床として 3床（妊産婦2室、新生児1室）の運用を開始

千葉大学病院（病院長 横手幸太郎）は、妊産婦のコロナ専用病床として、MFICU（母体胎児集中治療室：Maternal Fetal Intensive Care Unit）6床のうち3床（妊産婦2室、新生児1室）を確保し、8月27日から運用をスタートします。

MFICUは、平時からリスクの高い妊産婦を受け入れていますが、今後、コロナに感染した妊産婦の受け入れが増加した場合は、6床すべてをコロナ専用病床とする予定です。その際は、妊産婦3室、新生児3室となります。

また、MFICUで受け入れた妊産婦のコロナの病状が重症化した場合、人工呼吸器やネーザルハイフロー（鼻に管を入れて高流量の酸素を流す治療法）が使用できるICU（10床）やコロナ専用病棟（2フロアで36床）と連携して治療に当たります。さらに、早産など新生児に集中治療が必要な場合はNICU（新生児集中治療室）や近隣の医療機関と連携することになっています。

現在、医療の現場は「災害」時の状況にあると考えています。当院では、今後もさまざまな課題に柔軟に対応し、高度医療を担う大学病院として、地域医療に貢献してまいります。



MFICUでは、感染制御部の指導のもと、医師や助産師などが防護具の着脱方法を確認し、病室の出入口の床にゾーニング（清潔エリアの明確化）を行って受け入れの準備をしています。



### 【生水（しょうず）真紀夫 周産期母性科 科長のコメント】

千葉大学病院としてできることは何か、院内で話し合い、当科の医師、助産師の前向きな意見に力をもらいました。近隣の連携病院やかかりつけ医の皆さんとの調整も行い、それぞれの役割を果たしながら、今回の柏市のような悲しいことが起きないように、協力体制を作っていきたいと考えています。

<取材申し込み・お問い合わせ先>

千葉大学医学部附属病院 病院広報室

Tel : 043-226-2225 Fax : 043-224-3830 E-mail : byoin-koho@chiba-u.jp